

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	協同福祉会	代表者	東浦 秀己
事業所名	あすならハイツ恋の窪	管理者	山村 祥太
出席者	市町村職員 0人	知見を有するもの	0人
		地域住民・地域団体	0人
		利用者	0人
		利用者家族	5人
		地域包括支援センター	0人
		近隣事業所	0人
		事業所職員	4人
		その他	1人
		合計	10人

法人・事業所の特徴
 住み慣れた地域で、安心して元気に暮らすことを支援します。「普通の暮らし」を取り戻すことには「10の基本ケア」を実践する事で、利用者により「普通の暮らし」を取り戻すことを支援します。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	25年度11月より新規事業のため前回の改善計画はなし。	初めての自己評価については全員で取り組むことが出来なかつた。職員も小規模多機能の経験が初めての職員が多くあまり落ち着いた雰囲気ではなかつた。	初めての参加であった。小規模多機能のことについて深く知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> 多機能の(夜勤者含めて)全職員が事業所評価に参加します。 事業所評価の目標、サービスピッチの統括表の改善計画を職員一人一人が理解し、取り組みを行なっていきます。 引き続き、度々して会話をしながら支えたいと思っています。 ケアコラで施設の取り組みを定期的に発信していきます。 色々な方が施設にいられた時、入りやすいように雰囲気や環境を整えていきます。 職員一人一人が意識を持ち、施設にいられた方に頼りやすい雰囲気を感じたいと思っております。 玄関や外から見られる部分は特にきれいに保ち、入りやすい環境を整えていきます。
B. 事業所の しつらえ・環境	25年度11月より新規事業のため前回の改善計画はなし。	元タキシードステイの現場からの運営。日が経つにつれ設えは、環境は利用者さんにとって落ち着ける設えになった。	環境面について特に入りにくいこともなく問題はなし。夜間の出入りについてサ高住については可能であると発信された。	<ul style="list-style-type: none"> サロン月6回、春・秋の地域学習会を継続して行ないます。 サロンの実施を多くの方に知って頂けるように地域の発信を強化していき、参加者を増やします。
C. 事業所と地域のかかわり	25年度11月より新規事業のため前回の改善計画はなし。	11月から運営し同一建物の喫茶店や門松作りについて取り組むことはできたが地域の方を交えるの関りはまだ少ない。	春祭りなど利用者さんが1人で行けないものも付き添いがほしい。	
D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	25年度11月より新規事業のため前回の改善計画はなし。	1月運営推進会議では小規模多機能の利用者家族さんの参加が多くあった。	地域の関りと同じく地域に出向くことについても付き添いが必要時は付き添いをしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行われる行事は、出来る限り利用者さんと一緒に参加していきます。また、この地域でどのような行事が行われているのか情報収集にも力を入れます。



<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>25年度11月より新規事業のため前回改善計画はなし。</p>	<p>開催がまだ一回のため活かした取り組みが出来ていない。</p>	<p>運営推進会議の意義についての説明。地域の困りごとについても共有し改善に繋げることを確認した。</p>	<p>・利用者さんの家族や地域の方に呼びかけを行い、参加者を増やす取り組みを行います。会議では、小規模多機能をより知り頂けるように努力します。 また、意見交換の場となることで地域の困りごとに早急に対応できるようにします。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>25年度11月より新規事業のため前回改善計画はなし。</p>	<p>12月火災避難訓練の実施。地域の方も参加あり。避難の誘導もスムーズでした。</p>	<p>年二回の防災訓練の実施を確認された。</p>	<p>・水害訓練。地震訓練・火災避難訓練は継続して行ない、火災避難訓練を地域の方と一緒に出来るようにサロンの日に行なう等の工夫をします。 ・地域の防災訓練は情報収集を行ない、実施される時には、一緒に参加します。</p>